

事業番号

0165

平成23年行政事業レビューシート

(文部科学省)

事業名	私立学校施設高度化推進事業費補助		担当部局庁	高等教育局私学部		作成責任者			
事業開始・終了(予定) 年度	平成9年度		担当課室	私学助成課		私学助成課長 森田 正信			
会計区分	一般会計		施策名	VI-1 特色ある教育研究を展開する私立学校の振興					
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	私立学校振興助成法 第10条		関係する計画、 通知等	—					
事業の目的 (目指す姿を 簡潔に。3行程 度以内)	私立学校の施設の高度化・近代化を推進し、教育研究条件の充実向上を図る観点から、私立学校施設の老朽校舎等改築事業等に係る借入金の金利負担を軽減する。								
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	日本私立学校振興・共済事業団の融資を受けて実施される私立の大学・短期大学・高等専門学校並びに高・中等教育・中・小・特別支援学校が行う老朽校舎(築30年以上)及び危険建物と認定された旧耐震基準で建設された学校施設(昭和56年以前の建物)の建替え整備事業、私立大学附属病院の施設整備事業について利子助成を行う。 また、平成8年度以前に実施された学校施設の整備事業のうち、私学事業団からの借入利率が4%以上で、かつ当該施設を利用した新たな教育方法の改善、研究の高度化のための計画を有しているものについて返済に対する利子助成を行う。								
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託等 ☒ 補助 ☐ 貸付 ☐ その他								
予算額・ 執行額 (単位:百万円)			20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
	予算 の 状 況	当初予算	1,177	1,177	1,758	2,098	2,225		
		補正予算	0	0	0	0			
		繰越し等	0	0	0	0			
	計		1,177	1,177	1,758	2,098	2,225		
	執行額		1,177	1,177	1,709				
執行率(%)		100.0%	100.0%	97.2%					
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標				単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	本事業は私立学校施設の老朽校舎等改築事業等に係る借入の際に発生する利子負担軽減を図るものであるため、定量的な成果指標にはなじまない。			成果実績					
				達成度	%				
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標				単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	各学校法人の経営状況によるため、活動指標を算出することはなじまない。			活動実績 (当初見込み)	法人			()	()
単位当たり コスト	(円/)			算出根拠	※私立学校の借入の際に発生する利子負担軽減を図るものであり、各法人で借入状況等が異なるため、単純に単位当たりコストを算出することはなじまない。				
平成 23 ・ 24 年度 予算 内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由					
	私立学校施設高度化 推進事業費補助金	2,098百万円	2,225百万円	※私立学校施設の耐震化事業の充実による増					
				【東日本大震災復興関連事業 要求額 2,225百万円】					
	計	2,098百万円	2,225百万円						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか	
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	・本事業により、私立学校施設の老朽校舎等の改築事業等に係る借入金の金利負担を軽減し、私立学校の教育研究環境の整備が推進されるとともに、私立学校の安定した経営を実現している。 ・経費の執行に際しては、事業年度毎に学校法人から実績報告書の提出を受け、日本私立学校振興・共済事業団への利子の支払実績を確認したうえで交付をしており、支出先・使途について適切に確認を行っている。 ・計画的な補助事業を遂行するため、同事業団が行う学校法人への融資状況や計画の把握が課題であり、予算積算において適切な所要額を確保するよう努め、平成23年度においても必要経費を計上している。		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	1. 事業評価の観点：この事業は、私立学校の施設の高度化・近代化を推進し、教育研究条件の充実向上を図る観点から、私立学校施設の老朽校舎等改築事業等に係る借入金の金利負担を軽減することを目的とした学校法人等に対する補助事業であり、長期継続事業及び計画的な実施の観点から検証を行う。 2. 所見：日本私立学校振興・共済事業団の行う学校法人への融資状況や計画の把握により一層努め、計画的に補助事業を実施できるよう努めるべきであり、現行の予算規模を維持すべきである。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点（概算要求における反映状況等）			
引き続き計画的な補助事業の実施を図るため、日本私立学校振興・共済事業団と連携し、学校法人への融資状況や事業計画の確認に努め、適切な補助事業の実施を行う。			
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			

文部科学省
1,709百万円

〔私立学校の施設の高度化・近代化を推進し、教育研究条件の充実向上を図る観点から、日本私立学校振興・共済事業団の融資を受けた学校法人に対して補助金を交付。〕



【公募・補助】

私立学校施設高度化推進事業費補助
A. 学校法人(255法人)
1,709百万円

〔日本私立学校振興・共済事業団に支出した利子の一部に充当。〕

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

費目・使途
(「資金の流れ」
においてブロッ
クごとに最大の
金額が支出され
ている者につい
て記載する。費
目と使途の双方
で実情が分かる
ように記載)

A.学校法人A			E.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
利払費	利子の支払の一部に充当	167			
計		167	計		0
B.			F.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

※補助事業

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	学校法人A	利子の支払の一部に充当	167	-	-
2	学校法人B	利子の支払の一部に充当	123	-	-
3	学校法人C	利子の支払の一部に充当	112	-	-
4	学校法人D	利子の支払の一部に充当	64	-	-
5	学校法人E	利子の支払の一部に充当	50	-	-
6	学校法人F	利子の支払の一部に充当	45	-	-
7	学校法人G	利子の支払の一部に充当	44	-	-
8	学校法人H	利子の支払の一部に充当	43	-	-
9	学校法人I	利子の支払の一部に充当	40	-	-
10	学校法人J	利子の支払の一部に充当	28	-	-